



Vol.18 (2023.12)

ISSN 2187-2902

東京大学 法科大学院ローレビュー

侮辱罪の保護法益と行為

——法定刑の引上げと、ドイツ的な把握——

小杉麟太郎

地区詳細計画上の利益衡量

——ドイツ連邦行政裁判所における衡量要請の展開——

田中裕登

身分犯の共犯と業務上横領罪の構造

星川竜儀

意思表示の成立要件の検討

——電子取引を題材に——

宮川将毅

金融商品取引法における支配株主の規制

——その範囲と責任を中心に——

朱 大明

戦後世代の戦争責任

瀧川裕英

Merger Control in Japan:

“In Informal Remedies We Trust”

Simon VANDE WALLE

The University of Tokyo Law Review